

四段ガ尔特ナーの楽しみ

# ガルトナーは何してん!?

## 「何事にも一生懸命」、 野菜作りと触れ合いの喜び

緑ヶ丘クラインガルトナー 2028号 中村 博さん



流センターで開かれた奈良漬け講習会では講師を務めました。桶には中村さん自作の「中村農園」シールがペタリ。「やってい

「限りある人生を悔いのない生活で」と願う中村さんの一日は、「目が覚めましたか、ありがと〜」で始まり、「今日一日ありがとう」で終わるといいます。確定申告の時期と重なる1月から3月は八王子市の自宅に帰り、確定申告相談員として過ごす中村さん。「ガルトナー生活にぴったりでしょ」と、また楽しそうにほほ笑みます。

「今思えば面白かった」と振り返るのは、40年近く勤めたコンピュータ販売会社での日々。朝6時に家を出て深夜に帰宅する毎日だったといいます。そんな中村博さん(71)がガルトナーになったきっかけは、先輩の誘いで八王子市市民農園を訪ねたこと。そこで始めた野菜作りに「すっかりはまった」のは、退職の2年前でした。

当時は、次男はまだ中学生で、退職後の再就職を薦められるのは必至でしたが、仕事をやりつくした感があった中村さんは、家族の後押しもあり、翌年の緑ヶ丘クラインガルトナー開園と同時に入居。退職までの1年間は仕事をしながらのガルトナー生活でした。今年で13年目。入居時に植えた寒桜は冬を迎えて今年も咲きました。

近所のガルトナーさんたちとのバーベキューや、ジャガイモなどテーマを決めて作る「男料理の食べくらべ」も楽しめます。釣りの土産にと届けられた木の実で果実酒を作ったり、逆に中村さんからは育て増やした食用菊「モツテンホカ」を酒の肴にと届けたり。自然の恵みに愛情を込めて手作りした、美味しいものが、笑顔と一緒に行き交うのです。

